

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年6月分】

1. 実施した活動の概要・状況

6月は前半に脇野沢での活動が多く、後半は川内での活動が多かった。全体的に見ても気温が例年に比べて高いように見え、後半には梅雨入りし、雨が降る日とカンカン照りになる日が交互にきて、体調を崩しやすい環境であったように感じた。脇野沢では夢の平成号のガイドや脇野沢小学校の授業への参加など脇野沢に入り浸る日が続いた。川内では湯野川でのガサガサイベントや、体験館でのホタテフェスティバルなどイベントを準備、実施する日が続いた。

（主な活動）

◇6月1日（木） 夢の平成号イルカガイド

4月28日から運行している夢の平成号のガイドを6月1日、7日、14日と行った。このガイドでは、夢の平成号に乗船しているお客様に、主にカマイルカの生態や、どの方向に見えたのかなどを解説するもので、シフト制でガイドを交代して実施している。

初めて来たお客様、常連のお客様、むつ市外から来たお客様、むつ市内のお客様などいろいろなお客様が乗船しており、そのお客様のニーズを予測して、ガイドの内容を変化させている。常連の方には他のガイドとは違う、自分の水族館のイルカとの比較などを含めた経験談による解説をしたり、初めて乗るお客様には、どこで見えるか、どう進んでくるか、どうしたら写真を撮りやすいのかなどを話した後に軽くカマイルカの生態の解説をしたりと、自分の中でも楽しんでもらう工夫をした。

地域おこし協力隊として地域に入った時、ニーズは何なのか、この地域にあった地域おこしとは何なのかを常に考えている。外部から人を集めるイベントが良いのか、内部を盛り上げるイベントの手伝いが良いのか、内部の人たちの仕事の手伝いが良いのか、イベントの開催で外部にPRするのが良いのか、その地域に合う、その地域に求められる協力隊となるためにどうすれば良いのかを考える。このイルカガイドではお客様の求めているニーズを察知する能力が求められるため、地域おこし活動と似ていると考える。自分のすべきことを常に考える習慣を今後も身につけていけるよう努めたい。



◇6月18日(日) ガサガサ探検隊 in 湯野川

川内町湯野川の濃々園前の小川にて、網で生き物を探す「ガサガサ」のイベントを企画、実施した。湯野川地区は川内町から佐井村や大間町に抜けていく道の途中にある地区で、過去には湯野川温泉郷という名前で栄えていたと聞いたが、今は廃れているような地区であった。でも、河川の水はとてもきれいだし、自然豊かで最高の環境である。特に、太陽に日差しが川や山にあたった時に美しさは、思わず写真を撮りたくなるほど美しい。この美しい環境の中でイベントを通して子供たちを連れてきたいという思いと、川で遊ぶ機会を作りたいという思いで、この企画を立ち上げた。

湯野川の小川には温泉が混ざっていることもあり、多種多様な生き物が生息している。水生昆虫やカワニナ、多数のオタマジャクシ、鳴き声が美しいカジカガエル、山の魚のイワナやヤマメなど多くの生き物を採集することができた。参加していただいたお客様の中には「別の日に個人的にこの川で遊びたいんですが勝手にきて遊んでも良いのですかね？」と質問してくださる方もいた。

湯野川という素晴らしい自然環境の中にある地区をもっと多くの方に知ってもらいたいと考えているので、今後もガサガサ探検隊のイベントは実施していく。さらに、脇野沢の道の駅周辺の河川でもガサガサのイベントを実施したいと考えている。外で自然で遊ぶ機会を提供するとともに、何気なく通り過ぎている中にも素晴らしい景色があることをより多くの方に知っていただけるような企画を今後も実施していくよう努めたい。



2. 翌月の活動予定

7月は梅雨の延長と梅雨明けからの夏本番、海開きと毎週土曜日曜のイベントと繁忙期に突入する準備期間でもある。川内、脇野沢地区でのホタテの出荷等もまた始まってくることもあり、大変忙しい時期に突入すると考えられるため、できることはできるうちにをモットーに努めていきたい。また、将来を見据えて、資格取得等にも励んでいきたいと考える。

7月 9日 鯛島清掃

7月10日 ジオパーク全国大会決起集会

7月15日 陸奥湾環境活動体験事業

7月22日 あおもりアマモ調査団

7月26日 グリーンジャンボリー交流集会補助

7月30日 まさかりレガッタ